

## 問 来年度の国保税引上げはやめよ



答 段階的に引き上げせざるを得ない

無会派 大名 美恵子 議員

**問** 国保の目的は、運営を通して社会保障及び国民保健の向上に寄与すること。広域化でも国保税の高騰を抑える目的の一般会計繰入れはできるのか。この間村が行ってきた国保税の計画的引上げを受け、来年度税額の見直しはどうか。

**答** 一般会計繰入れは、削減を目指す方針に変更はないが市町村の判断により可能とされた。国保税の見直しは、11月末に県から納付金と標準保険料率の算定結果が示されたばかりで、今後具体的検討に入る。本村の医療費は県内でも高く、前期高齢者が4割超の現状なので、当面は医療費の増加が見込まれ、平成30年度から段階的に引き上げざるを得ないと予測する。

問 国のねらい通り社



会保障の切り縮めが明らか。税引上げは財務悪化を招くだけ。医療費の本格的分析で削減をめざし、当面激変緩和措置と一般会計繰入れの増により、税の引き上げは中止すべき。

**答** 段階的に引き上げせざるを得ない。

## 問 竹瓦から石神城間の冠水対策



答 今後関係者と協議

新政とうかい 寺門 定範 議員

**問** 竹瓦から石神城址公園間の村道は、台風の大雨で冠水した。冠水対策の状況について伺う。

**答** 主要な避難道路である本路線が、冠水の際避難困難となった状況を受け、現地測量など必要な基礎資料を収集している。今後、道路のかさ上げを含めた具体的整備の方向性について、関係者と協議する。

**問** 駅西の自転車レーン計画は再検討する

**答** 茨城国体に向けた東海駅西広場の整備に続き計画されている、笠松運動公園までの自転車レーン整備計画の状況と自転車利用者の安全確保策について伺う。

**答** 通勤通学時の安全確保と自転車走行の



整備が進む東海駅西口

ネットワーク化によるまちの活性化を目的として計画したが、地域から自転車レーンの必要性や国体後のまちの活性化に繋がる仕組みづくりなど多くの意見が出された。今後、自転車利用の交通量調査に基づき関係機関との協議や整備済みの自歩道の活用、誘導等を含めた、道路整備効果について再検討する。